

報 道 資 料

発表年月日	令和元年6月12日
担当部署名	地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター
担当者名	特命院長補佐・事務部長 村田 庄司
連絡先	電話0742-46-6001

VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)の院内伝播と対応について

当センターにおいて、バンコマイシン耐性腸球菌(以下、VRE)の院内伝播が発生し、その対応を行っていることをお知らせします

1. VRE菌とは

腸球菌は、ヒトの腸内にいる一般的な細菌です。その中でVREは本来効くはずのバンコマイシンという抗生物質の効かなくなった腸球菌のことです。この腸球菌に有効な抗生物質が非常に少なく多剤耐性菌のひとつです。

接触感染により広がり保菌者の便の処理、手洗いなどが十分でない場合、間接的感染で伝播します。

病原性は非常に弱く健康なヒトが感染しても病気を起こすことはありませんが、外科的手術や免疫不全・栄養失調等重症者が感染すると感染症を発病することがあります。

VREは、その菌を狙って検査をしない限り感染の有無が分からないため、感染状況を正確に把握することが難しい菌で、入院病棟では注意が必要です。

2. 発生の経緯と対応について

5月13日(月)4西病棟入院患者の血液培養検査からVREが検出されたため接触予防策を実施していました。

その後、当該病棟及び関連病棟のスクリーニング検査を実施したところ、保菌されている患者さんが4西病棟で12名、4東病棟で6名、5東病棟で4名合計22名が確認されました。

VREによる感染症を発病している方はおられませんでしたが、また、保菌者の方が、これまでの間に2名が亡くなっていますが、死因はVRE感染によるものではありません。

保健所には、5月13日の発生当初から随時報告を行っております。

対応については、臨時の感染対策会議を開催し、感染防止策を実施しました。

また、現在、保菌されておられる患者さんの病室移動の制限と環境清掃の強化、職員についても更なる感染防止の教育指導を実施しています。

加えて、感染対策の外部評価として、奈良市保健所並びに奈良県立医科大学による現場チェックを受け、アドバイスを頂くなど感染拡大防止の徹底した対策に取り組んでおります。

患者さんご家族の皆様には、感染拡大防止に全力を尽くす旨の説明をしておりますが、大変なご心配をお掛けしていることにつきましてお詫び申し上げます。